

「HOME-UCHIIKE」FC展開開始

インタビュー (株)住まいのウチイケ 代表取締役 内池 秀光氏



■標準仕様が賞に
 ハウス・オブ・ザ・イヤールで大賞を受賞した「エコハウススタンダード」は自社の標準仕様です。外皮平均熱貫流率(UA値)は0.23W/m²K。軸間高性能グラスウール105mm、付加断熱にネオフォーム66mmを施工し、窓はウレタン入り

■高評価だからこそ
 4月から開始したFC事業は「HOME-UCHIIKE」ホームウチイケ」と名付けました。FC加盟店とはサークルのような仲間意識の強いつながりを生み出したいと思っています。

加盟店は全国から募集します。対象は年間に5棟前後の戸建住宅を手掛ける工務店です。カバーする範囲は人口10万人あたりの1社と考えています。胆振管内はFC本部として自社で展開する予定です。初年度は10社の加盟店を目標にしています。5年後には全国で50社以上、500棟を目標に計画を進めていきます。

加盟店へのサポートは暖房費計算とBELS計算のほか、エアコン1台の全館空調を標準仕様として導入するため、その計画設計を行う予定です。暖房費計算やBELS計算まで手が回らない加盟

高性能住宅のノウハウハウを全国に 暖房費、BELS計算など支援

住まいのウチイケ(室蘭市)内池秀光社長は、「(財)日本地域開発センター(東京都)が主催する「ハウス・オブ・ザ・イヤール・イン・エナジー2018」で、道内企業で初めて大賞を受賞した。受賞したのは同社の標準仕様住宅である「eco-houses standard(エコハウススタンダード)」。

内池社長は「積雪寒冷地の2地域で大賞を受賞したことで日本一の高性能住宅と認められた」と胸を張る。同社は4月1日からフランチャイズ(FC)事業「HOME-UCHIIKE(ホームウチイケ)」の全国展開を開始した。内池社長に大賞受賞とFC事業の展望について話を聞いた。

が、省エネ住宅の普及への取り組みという観点から標準仕様のエコハウススタンダードが大賞に選ばれたのだと思います。

これまでハウスオブザイヤールの大賞を目標に取り組んできたことが実を結び、堂々と「日本一の性能を持った住宅」として全国にFC事業を展開することができそうです。

現在、自社で提案する住宅は全棟、暖房費を算出して1カ月の支払金額をシミュレートしています。加盟店にもそうした提案を行えるよう販売方法をアドバイザーにしています。

FC展開を開始するにあたっては、もちろん否定的な意見もありました。しかし、高い評価を得たノウハウだからこそ広めたいと考えています。それはお客様も求めているはず。

高性能住宅を全国に広めていくことは企業使命と考えています。19年前に胆振管内で初めて性能表示住宅を建てたから継続して取り組んできた成果を、道内だけでなく、全国の工務店と共有していきたいと思っています。

道・札幌市・関係機関人事

道建設部および総合振興局・振興局(4月1日、関係分)

◆まちづくり局
 ◇都市環境課▶参事(日本下水道事業団北海道総合事務所長 若山英樹)

◆建設局
 ◇建築保全課▶課長(総合政策部政策局研究法人参事▶総合研究機構派遣▶北方建築総合研究所 建築研究部長) 石丸貴康

◆主幹級
 ◇建築局
 ◇建築保全課▶主幹(根室振興局総務課主幹▶羅臼町派遣) 武田弘幸

◆空知総合振興局
 ◇札幌建設管理部▶建築行政室建設指導課▶課長(総務課主幹▶住宅供給公社派遣) 下佐充由

◆釧路振興局
 ◇産業振興課▶建設指導課▶課長(地域創生部主幹兼渡島総合振興局函館建設管理課事業地域調整課主幹 平井敬明)

退職(3月31日、建設部関係分)
 ▼建築局建築保全課長・高島正秀

札幌市人事(4月1日、都市局関係分)
 ◆部長級
 ◆市街地整備部

道建設部(市民文化局市民生活部長 本間芳明)▶住宅担当部長(保健福祉局監査指導室長) 山縣保之

◆課長級
 ◆市街地整備部
 ◇総務課▶課長(保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課企画調整担当課長) 中田光太郎

◆宅地課▶監理担当課長(手稲区土木部維持管理課長) 大村典久▶宅地復旧支援担当課長(監理担当課長) 小泉順裕

◆住宅課▶課長(建築指導部建築安全推進課監査担当課長) 遠藤広士

◆建築指導部
 ◇建築確認課▶道路確認担当課長(北区市市民部札幌まちづくりセンター所長) 片岡みなこ

◇建築安全推進課▶課長(市街地整備部住宅課長) 中田文晴▶監察担当課長(建築確認課道路確認担当課長) 阿部賢

退職(3月31日)
 ▼市街地整備部長・岡部忍▶市街地整備部区画整理清算課長・北川英博

北海道立総合研究機構人事(4月1日、関係分)
 ▼理事・鈴木大隆

退職(3月31日)
 ▼退職(建築研究本部長兼北方建築総合研究所長) 鈴木大隆

長 鈴木大隆
 (4月1日、建築研究本部長) 鈴木大隆

関係分▶建築性能試験センター長(北方建築総合研究所副所長) 田中淳一

▶北方建築総合研究所副所長(同地域研究部長) 松村博文▶北方建築総合研究所地域研究部長(建築性能試験センター安全性能部長兼構造判定課長) 渡邊和之▶北方建築総合研究所建築研究部長(同地域研究部地域システムグループ研究主幹) 福井淳一▶北海道へ転出▶建設部建築局建築保全課長(北方建築総合研究所建築研究部長) 石丸貴康

退職(3月31日)
 ▼退職(建築性能試験センター)長 倉増英樹

住宅金融支援機構人事(4月1日、関係分)▶団信・個人業務部長(北海道支店長) 小澤敏成▶北海道支店長(同地域営業部門長) 堀越拓治▶北海道支店地域営業部門長(債権管理部門債権管理企画グループ長) 西原輝彦

国際・調査部調査担当部長(北海道支店総務・コンプライアンス部門長) 横谷好▶北海道支店総務・コンプライアンス部門長(東海支店総務・コンプライアンス部門長) 豊島義之

札幌市は4月2日、「札幌版次世代住宅補助制度(市民向け戸建住宅)」の今年度第1回の公開抽選を行った。ハイレベルスタンダードレベル、ベ

第2回仮申請申込みは4月22日まで

札幌版次世代住宅補助制度(市民向け戸建住宅)の今年度第1回の公開抽選を行った。ハイレベルスタンダードレベル、ベ

シックレベルで抽選を行い、すべてのレベルで補助予定件数に達した。

第2回仮申請申込みは4月12日(金)から4月22日(月)まで受け付ける。予定件数はトップランナー1件、ハイレベル3件、スタンダードレベ

HOUSE OF THE YEAR IN ENERGY 2018

「大賞 受賞」

省エネ性能 全国 No.1 に選ばれました

「優秀賞」、「特別優秀企業賞」を含め、5年連続トリプル受賞達成

私たちの建てた住まいが、一般財団法人日本地域開発センターによる省エネルギー住宅のトップランナーを表彰する制度「ハウス・オブ・ザ・イヤール・イン・エナジー2018」において全国285件の応募の中から日本一の称号をいただきました。第三者機関の客観的な評価によって全国トップ水準の家と認められ受賞に至ったことは、品質や施工技術力の向上を心掛けてきた賜物だと自負しております。これからも、お客様に感動を与える家づくりを目指し邁進してまいります。



株式会社 住まいのウチイケ

本社 室蘭市八丁平5丁目44-5 TEL 0143-42-4118/FAX 42-4128
 支店 苫小牧市ウトナイ北10-9-6 TEL 0144-84-6000/FAX 84-6003
 駅前支店 伊達市南黄金町28-5 TEL 0142-24-1900

HOME-UCHIIKE 加盟店募集中 (0143) 42-4118

建設業許可 北海道知事許可(特-27)第03379号 宅地建物取引業免許 北海道知事 胆振(4)第900号 (公社)北海道宅地建物取引業協会加盟

[省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度]

HOUSE OF THE YEAR IN ENERGY 2018

省エネルギーやCO₂削減等に貢献する住宅の普及と快適な住まいの実現に貢献することを目的に、建物外皮と設備を一体とした省エネルギー性と販売実績や設計・施工における標準化といった普及性を評価し、優れた住宅を選定する制度です。評価基準は、(1)外皮・設備の省エネルギー性能値(2)多様な省エネルギー手法の導入(3)省エネルギー住宅の普及への取り組みの3つで、優秀と認められた住宅が表彰されます。(2018年度大賞受賞宅2社)

eco-house standard
 標準仕様住宅 エコハウススタンダード